

ご 挨拶

生命・応用化学類 類長 青木 純

新緑の候、緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年度の生命・応用化学類（学科）長ならびに工学専攻副専攻長を務めさせていただく青木です。責任の重さを感じつつ、皆様のご期待に応えられるよう精一杯努めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この3月に博士後期課程5名、博士前期課程83名、学部生（一部104名、二部7名）が修了・卒業し、新たに緑会の一員に加わりました。新会員をどうぞよろしく願いいたします。さて、毎年、学科主催の「化学公開セミナー」を共催いただき、緑会の皆様には大変お世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。今年も6/18に開催いたしますので、ご参加いただければ幸いです。一方で、これまで毎年開催いただいていた「キャリアサポート交流会」は、就職活動の早期化に伴い開催時期を早めてきましたが、大学主催会社説明会の複数開催や各会社のオンライン説明会、インターンシップなどの就職活動に関する機会が多様化したため、惜しまれつつ役目を終えたと伺っております。これまで就活生がOG/OBと話す機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。今後、「キャリアサポート交流会」に代わる新たな同窓会と在学生・学科の関係を築くことを期待しております。

学科の近況をご紹介しますと、令和4年に二部が改組

され、基幹工学教育課程（夜間主）となり、3年が経ちました。令和3年に入学した二部最終年度学生が5年生となり、今年研究室へ配属され、残すは卒業研究のみとなりました。それに伴い、物質工学科向けに開講されてきた4年生までの講義はすべて終了となりました。他方、昨年度に大学院が改組され、博士後期課程に新たに国際エネルギー変換システム専攻が開設され、本学科教員が複数兼任して活躍しております。今後、就学年齢世代の減少、産業構造の変化や時代の要請など大学を取り巻く環境は著しく変化していきますが、これまでの経験を活かし、新しい方法を取り入れながら、教育の質の向上を図り、新しい時代のニーズに对应していくことを強く意識していく必要があります。我々教職員一同は、これからも変化に柔軟に対応し、教育と研究に邁進して参ります。

教員の近況報告としまして、有機化学分野には新任の趙正宇助教が着任されました。新たに着任された先生が、学科の教育・研究において新しい息吹をもたらすことを期待しております。

最後に、緑会の皆様には、今後とも本学科の学生・教職員に対する変わらぬご支援とご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念してご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

生命・物質化学分野 就職担当 小澤 智宏

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。2026年修了・卒業学生の就職担当を行う小澤です。本年も変わらぬご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

昨年10月より前任の青木先生から本業務を受け継ぎました。私が就活生として活動していた頃はバブル経済の余波がある時期でしたので、非常に多くの求人があり選択が大変と感じる今では考えられない贅沢な時期でした。その後程なくして就職氷河期と呼ばれる長く続く就職難の時期が始まりました。若干の上下動はあるものの就職難の時期は2022年のコロナ期まで続き、ようやく一昨年あたりから売り手市場となってきたと感じております。私が就活生（修士学生）の頃は、就職担当の先生のところに出向いて文書資料を閲覧させていただき、活動のための情報を得ていたのですが、昨今の情報化社会において学生はスマートフォンで電子情報を元に活動方針を決める時代になりました。そのような変化とともに本分野でもWeb上に就職担当事務員の方が立ち上げた就職情報サイトをもっぱら利用している状況です。その情報サイトには、求人票だけでなく会社説明会やインターンシップなど就職活

動に必要な情報をワンストップで利用できる環境になっています。緑会の皆様から学生に伝えたい情報がありましたら、ぜひ就職担当までお知らせください。

売り手市場となりつつある現在、ご存知の通り就職活動が早期化しております。2023年からインターンシップ定義の明確化とインターンシップを採用選考に利用できるようになったため、春季や夏季に多く開催されているインターンシップに参加する学生が増えております。昨今の就職活動早期化はやむをえないことなのかもしれませんが、本来一番実験技術や研究を通して論理的な考え方を習得できる重要な時期がちょうど就職活動と重なっている状況は、学生のみならず企業にとっても社会にとっても良いこととは思えません。就活生には早期化は仕方がないが長期化しないように伝えている次第です。

今年度はこうした学生の就職活動の変化から、毎年緑会が主催して開催していたキャリアサポート交流会を一旦中止し、緑会会員である学生に対して多くのメリットある行事を考えていると聞いております。どうぞ本分野の学生に対して、これまで同様ご支援を賜りますようお願いいたします。

東京支部だより

東京支部長 大久保智明(D57)

緑会東京支部のおもな年間行事は、5月と10月に開催する幹事会、11月の名古屋工業会東京支部総会にあわせて開催する緑会東京支部総会・懇親会、そして3月に開催する春の集い（懇親会）です。特に11月の総会は、森秀樹名誉教授をはじめ、名古屋工業大学からも来賓をお迎えし、大変賑やかな会となっています。

しかしながら東京支部においても、会員の高齢化や新規参加者の減少が大きな課題となっています。特にコロナ禍以降はその傾向に拍車がかかり、新たに幹事役をお願いできる方を見つけるのも容易ではなくなっています。時代の変化とともに、私たちの同窓会活動も従来のなぞりではなく、当然見直す必要がありますが、また一方では、混沌の時代に人と人

との温かいつながりがこれまで以上に求められているようにも感じます。

人生百年時代と言われるなか、現役世代の交流や情報交換に加えて、例えば定年後の人脈形成やリタイア後の仲間づくりにも緑会の活動は最適です。最近では、卒業した大学への帰属意識の希薄化や、先輩後輩などの人間関係を敬遠する向きもありますが、新たな会員確保と活発な活動に向けてこれまで以上に努力していきたいと思います。

このような状況をふまえつつ、緑会東京支部では2025年5月から、馬場順一支部長(D①)、中村理恵幹事長(G62)の新体制となります。引き続き緑会の皆様のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

近畿支部だより

近畿支部長 西川 嘉一(G50)

緑会近畿支部の皆様いかがお過ごしでしょうか。
緑会の活動支援をよろしくお願いいたします。

(1) 2024年度の緑会活動報告

- ・2024年7月 アサヒビール吹田工場＋懇親会
- ・2024年12月 忘年会（大阪鶴橋）
年度末に、花見を企画していますが、予定は決まっていません。
- ）2025年度の緑会活動計画
 - ・2025年夏 久々に緑会総会を開催（大学より現役教授をお招きする）
 - ・2025年秋 紅葉見物ハイク
 - ・2025年冬 忘年会

- ・2026年春 桜見物ハイク
 - ・随時に企画ができ次第、実施の案内をします。
- (3) 支部組織について
- ・伊藤副支部長がインドネシアに赴任のため、新副支部長（4月より）選考中
 - ・支部役員の増強（若手の参加を希望します）
- (4) お知らせ
- ・名古屋工業会大阪支部で共に活動してきました双友会（W学科）が2024年度末で活動を休止されました。メンバーの高齢化でもう動けないとお話でした。
- 大阪支部の情報は、緑会経由のメールでお届けしています。

ご 挨拶

趙 正宇

緑会会員の皆様、初めまして。このたび、2025年4月より名古屋工業大学柴田研究室の助教として着任いたします趙正宇と申します。名古屋工業大学で博士学位を取得し、その後も引き続き本学で研究活動を行う機会をいただき、大変光栄に感じております。これまでの学びと経験を活かし、教育・研究の両面で貢献していきたいと考えております。

私の専門分野は有機化学で、特にフッ素有機化合物に焦点をあてた反応開発に取り組んでおり、機能性材料や医薬品の創製に貢献することを目指しています。これまでの研究では、環境に配慮した、持続可能な有機反応の開発に挑戦してきました。今後は、さらに本研究を展開し、より社会的なニーズに応える研究を取り組みたいと考えています。

また、教育においては、学生の皆さんの探究心を育み、理論と実践のバランスを重視した指導を心掛けていきます。実は有機化学は多くの学生から苦手意識を持たれがちな分野ですが、その奥深さや面白さを伝えることで、学習意欲を引き出したいと思っています。また、これまでの経験を活かし、国際的な学術交流の機会を提供し、学生の視野を広げるサポートをしていきたいと考えています。

これからは、本学教員の一員として、教員・学生間のコミュニケーションを大切にしながら、教育・研究活動に全力を尽くしていく所存です。そして、より良い学びの環境を築き、学生の成長と研究の発展に貢献できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

第15回化学公開セミナーのご報告

緑会庶務幹事 宮川 淳

緑会の共催行事である化学公開セミナーが2024年6月26日、名古屋工業大学4号館ホールにて、開催されました。本セミナーは15回目となり、これまで様々な教員による講演が行われてきました。今回のご講演は、無機化学分野の猪股智彦先生と、有機化学分野の宮川が講演させて頂きました。当日の参加者は60名以上にのぼり、学部1年生から博士後期課程の学生、教職員など幅広い参加となりました。

猪股先生より「分子の表面修飾による機能性材料開発」の演題で、分子の表面修飾により作製された機能性材料を利用したCO₂変換電極触媒や色素増感太陽電池、微生物センサーなどの最新の研究について、学部生にも分かるようにご紹介

頂きました。宮川からは「糖鎖合成を基軸とした生命機能研究」の演題で、糖鎖の化学合成および機能解明などの研究を行ってきた菌類の細胞壁である β グルカンおよび糖鎖を生合成する糖転移酵素の基質である糖ヌクレオチドの研究について紹介しました。

また質疑応答では、先生方からの質問だけでなく、学生の皆さんからも質問があり、活発な討論が行われていました。今後も本セミナーは学外への公開講演として続けてまいりますので、学内の方だけでなく、卒業生の方もお気軽にご参加ください。

令和6年度行事「卒業生への記念品贈呈」

副幹事長 高取 奨

緑会の主要行事として長らく行ってまいりました「キャリアサポート交流会」ですが、昨今の就職状況の変化、事務工数捻出の困難さ、運営費増加もあり、令和6年度は行事を一旦中止することとなりました。行事見直しの間、会員となっていた学生の皆様向けに代わりの行事として記念品の

贈呈を執り行うこととなり、「Nitech Midori」のロゴの入ったボールペンを準備いたしました。

卒業が近づく令和7年2月27日に、緑会役員代表として、各研究室の学生連絡員の方々に直接記念品の贈呈を執り行わせていただきました。



令和7年度も行事リニューアル検討期間として、今年度と同様に記念品の贈呈を予定しております。同窓生、在学生、企業、大学の皆様にとってうれしくなるような「キャリアサ

ポート交流会」に替わる行事を準備してまいりますので、今しばらくお待ちください。行事内容が決まった暁には、会員の皆様には絶大なるご協力を何卒よろしくお願いいたします。



名工大メールアドレス取得・利用の勧め

今年度より、緑会ニュース「炎」は年一回発行し、緑会ホームページ上で公開することに致しました。また皆様とのご連絡手段につきましても電子メールに移行する必要があります。その際にメールアドレスが必要となりますが、個人メールアドレスを収集し、緑会で管理することは負担が大きく難しいためにできません。そこで、名古屋工業大学卒業生連携室が管理する名工大メールアドレスを利用したいと考えております。卒業生の方なら、生涯無料で利用でき、プロバイダの変更や退職等によりメールアドレスが不明になることがない利点があります。下記に申込方法を卒業生連携室HPより転載しますので、ご利用ください。

名工大メールアドレスの申込みと登録情報の確認・変更のお手続き

改訂 平成29年4月1日
平成24年9月1日

名古屋工業大学では、卒業生の皆様に、生涯無料で利用できる名工大メールアドレス（Gmail）の提供をしております。【※2012年3月以降に卒業された方々と、在学中の学生の皆様には、既に名工大メールアドレス（Gmail）が発行されております。】

このメールアドレス（Gmail）は、本学卒業生専用のドメイン「nitech.jp」を持ち、本学から定期的にお届けするメールマガジンの配信アドレスになります（例：名工太郎さんの場合、t.meikou.xxx@nitech.jp（xxxは3桁の乱数））。

また、メールマガジンをお届けする以外にも、皆様方での連絡手段としてご利用いただけるだけでなく、メールنگリストやスケジュール管理などGoogleが提供する各種サービスもご利用いただけます。

なお、ご登録いただきました個人情報については、本学で適正に管理し、このウェブサイトに掲載している個人情報保護方針の「個人情報の利用目的」以外には使用しません。また、断りなく同窓会以外の団体や個人等に提供することはありませんので、御安心ください。

本サービスによって、皆様方での交流や本学との情報

交換がより一層促進されることを期待しております。

名工大メールアドレスサービス（申込み、確認・変更）
<https://alum.nitech.ac.jp/service.html>

第16回化学公開セミナーの御案内

2025年度の化学公開セミナーは、2025年6月18日（水）に以下の様に開催されます。最新の研究内容が聞けますので、ぜひ御参加ください。

第16回化学公開セミナー ～環境にやさしい化学～

主催：生命・応用化学科

共催：工学教育総合センター、生命・物質化学分野同窓会
「緑会」

日時：6月18日（水）14:40～16:10

場所：名古屋工業大学4号館ホール

講演1 14:40～15:20

「可視光を用いた環境に優しい有機合成技術の開発研究」
安川 直樹 助教（座長：中村 修一 教授）

講演2 15:30～16:10

「生物機能を規範とした機能性化合物の開発」
小澤 智宏 教授（座長：猪股 智彦 教授）

概要

名古屋工業大学 生命・応用化学科 生命・物質化学分野では、2010年から所属教員の研究をやさしく分かりやすく紹介するため化学公開セミナーを開催しています。今回は「環境にやさしい化学」と題して安川直樹先生と小澤智宏先生のお二方にご自身の研究を紹介していただきます。安川先生からは、持続可能なエネルギーである「光」と2010年ノーベル化学賞に受賞した鈴木・宮浦カップリング反応に不可欠な元素である「ホウ素」を活用した省エネルギーな有機合成について、また、小澤先生からは、生物分子の活性中心の状態を分子設計に活かして、生体にとって必須であるが、高活性なため寿命の短い一酸化窒素「NO」に対して高選択性を示すセンサー分子の合成とこのセンサー分子に結合したNOの光脱離について紹介いただく。

2024年度（令和6年度）卒業生就職先一覧

●博士前期課程●

(株)LIXIL, (株)アイシン, (株)デンソー, (株)メニコン,
(株)神鋼環境ソリューション, (株)村田製作所,
(株)東海理化電機製作所, ADEKA(株), AGC(株), JSR(株),
KHネオケム(株), SOLIZE(株), アビ(株), イビデン(株),
カンケンテクノ(株), キヤノンマーケティングジャパン(株),
トヨタ自動車(株), トヨタ車体(株), トヨタ紡織(株), ハウス食品(株),
パナソニック(株), パナソニックエナジー(株),
トヨタバッテリー(株), ブラザー工業(株), ホーユー(株),
ポリプラスチックス(株), リンナイ(株),
伊藤忠テクノソリューションズ(株), 京セラ(株),
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO),
三井化学(株), 三菱重工業(株), 山陽特殊製鋼(株),

住友ベークライト(株), 住友電気工業(株), 森永乳業(株), 双日(株),
大阪有機化学工業(株), 竹本油脂(株), 中部電力(株), 東ソー(株),
東レ(株), 東邦ガス(株), 東亜合成(株), 日東電工(株), 日本ガイシ(株),
日本特殊陶業(株), 日油(株), 豊田合成(株)

●第一部●

(株)川本製作所, NDS(株), キョーラク(株), トヨタバッテリー(株),
ニッタ(株), リンナイ(株), 三菱自動車工業(株), 住友電装(株),
住友理工(株), 名古屋市

●第二部●

気象庁, ゴムノイナキ(株)

2025年度 緑会総会の御案内

緑会総会・講演会を下記の要領にて、名工大内で開催致します。また、総会後に懇親会も開催致します。同窓生をお誘い合わせの上、是非とも御参加ください。

記

日 時 2025年6月14日(土) 14:00より
場 所 名古屋工業大学 19号館602室

○総 会

○大学近況報告 生命・応用化学科 学科長 青木 純 教授

○講 演

題目 「GX（グリーン・トランスフォーメーション）、世界の動きと日本の進むべき道」
講師 堀尾 正毅 氏 (D41)

○懇親会 （締切後にE-mailおよびホームページにてご連絡致します。）

総会・懇親会に御参加いただける同窓生の皆様におかれましては、5月18日(日)までに、方法①あるいは②にてご連絡ください。

方法① 下記の事務局宛、E-mailまたはハガキにて「御名前」「御卒業年」「御連絡先」を御連絡

方法② 右のQRコードあるいは<https://forms.office.com/r/JfyXgYQBEd>

よりご参加フォームにアクセスの上、御連絡

懇親会について申し込み人数により会場を準備いたします。



連絡先 名古屋工業大学 緑会事務局 宛

E-mail : midori@ach.nitech.ac.jp

住所 : 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

◆◆◆◆◆ 名工大、緑会、工業会ホームページの紹介 ◆◆◆◆◆

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <https://www.nitech.ac.jp/>

緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>

名古屋工業会HP : <https://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下にお願いします。

E-mail : renkei@adm.nitech.ac.jp

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 卒業生連携室

緑会ホームページ

